

## ◇質疑応答（概要，概ね質問順）

記者： 最近の新型コロナウイルスの感染状況により，東海村は6月2日まで感染拡大市町村に指定されているが，村内の感染状況を村長はどのように見ているか。

村長： 感染拡大市町村に指定されたときは1週間で合計8名の感染があった。感染の原因は家庭内感染によるもの。東海村の人口規模だと6人の感染者が発生すると，感染拡大市町村に指定される。今回のケースも家庭内から感染が始まり，親族まで広がった。そうすると1つの家庭で5～6人感染したことになる。そういう意味では，今回は市中というよりは仕事等で外へ出た人が家庭内に持ち込んだというケースに当たる。従来は，家庭に持ち込んで子どもが陰性のケースが多かった。しかし，今回は陽性になっているケースが多いとなると，以前より感染力が強くなっているという意識はある。

記者： 65才から74才のワクチン接種が6月中旬を予定している中，国が目指す7月にワクチン接種を完了するという目標に間に合うのか。

村長： ワクチン接種は1回目の接種から2回目まで3週間あけないといけないので，ぴったり7月末に接種が終わるかというところはまだわからない。9割接種で考えると，かなりの数となるが，実際にやるとなるとそこまではいかないという予測だ。その中で，順番にやっていけば，何とかおさまる見込み。確実にできると断言できるものではないが，7月末に完了する目標でやっていく。

記者： 自分ごと化会議の3回目が新型コロナウイルスの影響でできず，参加者は日本原電の敷地内に入って見学をしたということだが，現場に行ったことの意味合いや考えについて聞かせてほしい。

村長： 担当課から報告は受けている。参加した方々からは，率直な意見が出たということで，報道されているようなことは聞いている。初めて見る方が多いと思うので，紙で見るより，現場で見た規模感や工事の大きさなどに驚いており，感じるころはあるのだろうと思っている。今回は特別なバージョンで，一般の人が入ることができないところまで行ったようなので，参加した人にとっては，感じるころはあったのかなと思っている。

記者： 6市村の首長懇談会で協議会の位置づけの確認があったと思うが，その後何か話はあったのか。

村長： 協議会の位置づけの話だけでなく，いろいろな意見が出ており，そのあたりを整理しているところだ。最終的には6首長で何を協議していくのか，原電に対して何を求めていくのか，今私の方で整理をしている最中だ。前回の意見交換を踏まえて，これからまた他自治体の首長に今後の対応について話していこうと思っている。

記者： それは「近いうちにできれば」ということか。

村長： 直接会って話をするのかそうでないのかなど、やり方はあるが、首長懇談会の頻度を上げてほしいという声もあるので、そこも踏まえて考えていきたい。

記者： ワクチン接種予約について他の自治体では、予約のミスなどがあったが、東海村はどうなのか。

村長： 重大なミスがあったとは聞いていない。最初はネット予約とコールセンターしかなかったが、急遽、紙ベースでもワクチン接種予約を受けましょうということで、直接保健センターに出向いて紙を渡して、受付するというものだが、朝早い人で6時30分に来ている人もおり、そこはご迷惑をおかけしたと思う。

記者： 村長選があるが、自身の村長選に向けての態度はどうなのか。

村長： 熟慮中。

以 上